

東京くっちゃん会ニュース 2013 年春号

東京くっちゃん会事務所：〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸二丁目 9 番 40 号

銀洋ビル 902 あすか会計事務所内 電話 045-322-1888



(▲町のHPより)

「東京くっちゃん会」3年目に

ふるさとから遠く離れながらも倶知安を愛し、応援する人たちが参加して結成した「東京くっちゃん会」は第2回総会を終えて、3年目を迎えました。

幹事一同は、会の発展のためには、今年度の活動をより充実させることが大事と毎月集まり、今年度の取組みの具体化を進めてまいります。

会員のみなさまへ会の取組みのお知らせとふるさと倶知安町のミニ情報をお届けするニュースを年1回だけではなく季節ごとに発行いたします。

今後は、会員同士の交流の場ともなるように充実させたいと思います。ご協力をお願いします。

ぜひご愛読をいただき、皆さまからの近況や情報をお送りくださいますようお願いいたします。

幹事一同

「くっちゃん冬の一大イベント『雪トピアフェスティバル 2013』が無事に終了いたしました！

吹雪いたり青空になったり、お天気がコロコロ変わった2日間でしたが、沢山の方々に来ていただきました。そんなフェスティバルの様子はコチラから。沢山のご来場とご協力、誠にありがとうございました」
(町のHPより)





「東京くっちゃん会」第2回総会

昨年12月1日(土)、千代田区四ツ谷の主婦会館プラザエフ7階カトリアで東京くっちゃん会会員124人中出席会員56人、俱知安町長をはじめとする町関係者や近隣ふるさと会からのご来賓を含め80名以上の参加で、盛大に行われました。

会長の成瀬勝也氏は3年目に踏み出す今後の会の取組みへの決意と俱知安の発展のための農業・観光・スポーツが大事という持論を紹介する挨拶を述べました。

ご来賓の福島世二町長は、町をめぐる大きな動きとして、新幹線の札幌までの延伸、高速道路の余市―俱知安間の事業化、ニセコひらふへの夏場の長期滞在者の増加、一方で泊原発30km圏内としての防災計画作成などを紹介されました。

総会第一部での予定の各議案は提案どおり承認されました。記念講演は4pで紹介のように大石副会長が想いを込めて行われ、多くの参加者の共感を呼びました。

第2部の懇親会は、ふるさとの話題やお互いの近況、思いで話に花を咲かせ、和やかな時を過ごしました。



◆幹事・顧問のご紹介

| | |
|-------|--|
| 顧問 | 福島 世二 (町長) |
| 顧問 | 下田 和男 |
| 会長 | 成瀬 勝也 |
| 副会長 | 横濱 英紀 大石 義勝 |
| 事務局長 | 高木 武良 |
| 事務局次長 | 八木 淳子 |
| 幹事 | 高木 直良 本間 由美子 井口 恵美子 大槻 紀子 土開 千昭 (3月より) |
| 会計 | 坂井 聖 佐藤 光男 |
| 監事 | 工藤 巖 中西 辰雄 |



今年度の活動予定

今年度「東京くっちゃん会」は、会員相互の親睦とふるさと倶知安町との交流を深めるための活動として次のように取り組みます。

- ◆ 10月北海道フェアに参加
- ◆ 4月下旬会報（ニュース）春号発行
- ◆ 7月21日（東京白樺会会場）次回総会案内の配布
- ◆ 7月31日～8月3日
倶知安訪問
ニセコ登山、温泉、グルメ、町長との懇談など予定
- ◆ 9月末会報（ニュース）秋号発行
第3回総会/11月23日（土）案内
- ◆ 毎月の幹事会開催
- ◆ 東京近郊在住の倶知安町出身青年との交流

◆ふるさと倶知安訪問ツアーのご案内 ニセコ登山と温泉、グルメの旅

申込み先：電話 045-322-1888 横濱英紀

申込み期限：5月15日（水）

日 時 7月31日（水）～8月3日（土）

募集人員 20名前後

参加費 80,000円程度

旅行日程（主な予定、詳細は別途）

7月31日（水）羽田空港発→新千歳空港着

新千歳→積丹半島→五色温泉・ニセコ山の家（宿泊）

8月1日（木）ニセコ山の家→ニセコアンヌプリ登山→ホテルようてい（宿泊）

8月2日（金）ホテルようてい→羊蹄山麓一周のバス旅行→ホテル第1会館→倶知安町のみなさんとの懇親（予定）、宿泊

8月3日（土）ホテル第一会館→JR 倶知安駅→小樽・札幌經由新千歳空港→羽田空港

ようこそ
ふるさと
倶知安へ！



愛する故郷、 倶知安への想い

東京くっちゃん会副会長

倶知安観光大使

大石義勝



私は故郷を離れて早や50年近くになります。社会に出てから何度となく自信を失い、そのたびに帰郷して羊蹄山やニセコを見、親兄弟、友人に会ってどれだけ癒され、元気づけられたたことでしょうか。今は感謝の気持ちでいっぱいです。故郷が元気になることを願わずにはいけません。以下の構想が実現できれば、少子化や若者の町外流出を防げるのではないのでしょうか。

多くの人とこの想いを語り行動しエネルギーとすれば実現できます。想念はエネルギーです。

- 1 倶知安町の厳寒期での住み心地良くするためには、もう少し冬の太陽に代わるエネルギーが欲しい。(分散型発電機の開発を継続中)
- 2 倶知安町の産業は農業が基盤。倶知安町の農業分野で特産品を産み出し、圏外に発信する。寒冷地に適した農産物の見直し、付加価値の高い第6次産業への転化を指向したい。
- 3 豊かな自然と人間味あふれる倶知安町は人間の情熱を育む最適の地。倶知安農高を小規模でも農業高専または農業大学、あるいは寒冷地農業研究所などの専門機関に高められないか。
- 4 お年寄りの経験にもとづいた知恵を活かして社会参加をうながす。高齢者も社会から疎外された施設で生活するのではなく、生きがいのある場を用意すれば、お年寄りも元気に健康維持ができます。町の医療負担の軽減にもつながります。
- 5 倶知安町は後志支庁の所在地であり、羊蹄山麓町村の生活に密着した行政の町でもあります。小樽市にはない「倶知安町」の存在意義を再認識したい。羊蹄山麓町村の生活物資の供給基地が倶知安町であり、行政の各分野での情報発信地でもあることを再認識して一町一村一品(名物)運動を起し『羊蹄山麓定住型自立経済圏』を目指す。(町村合併問題の際に『羊蹄市』を提案しました。)

以上が恩返し気持ちを込めて故郷が元気になることを願っての私なりの提案です。(倶知安高校第16期)

ふるさとからのニュース

◆NHK ドラマ「極北ラブソディ」(3月19日、20日)の撮影、エキストラに倶知安町、町民などが協力…厚生病院、羊蹄山のシーンが豊富に

町のHP「倶知安町の話」によるとロケエキストラ募集には定員を大幅に超えるご応募があったようです。ロケには積丹半島の町やニセコ町も含め、広く協力して行われた模様です。



◆「ニセコ観光局」設立に向けて取組み

「ニセコはひとつ」を実現し、「ニセコのたから」を守り続け、「ニセコのちから」を関係地域全体に循環させるため、多様な地域個性を有するニセコをひとつ

のブランドにまとめあげるワンストップの機関として、「ニセコ観光局」を行政の枠を超えて設立するためのプロジェクトがいま推進されています。

<http://niseko-kankokyoku.blogspot.com/>